

県民の皆さんとめざす姿

南部地域において、働く場の確保が図られ、定住が促進されるとともに、生まれ育った地域に住み続けていたいというあらゆる世代の地域住民の思いがかなう地域社会が創られています。

現状と課題

- 南部地域では、地域にとって重要な産業である第一次産業の衰退、地理的な条件等により大規模な工場誘致等の雇用の場の確保も難しいことなどから、他の地域と比べて、若者の流出などによる生産年齢人口の減少が著しく、過疎化、高齢化が進んでいます。また、集落機能の維持が困難になる集落が増えています。
- 上記のように、南部地域の課題は多岐に渡っており、地域の課題に応じた柔軟で、効率的・効果的な取組が求められています。
- また、財政基盤の弱い市町も多く、県と市町が連携して取り組むことが求められています。

変革の視点

南部地域において、地域を支える世代の人口流出をとどめるため、関係市町と連携し、市町が連携した取組への支援や、県の取組を効率的・効果的に進めます。

平成 27 年度末での到達目標

市町が連携した課題解決や活性化に向けた取組が進められるとともに、中間支援機能の構築などの県の取組が市町や地域のニーズに応じて効率的・効果的に進められています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
南部地域の市町における生産年齢人口の減少率	15.6% (22 年度)	15.6%	南部地域の市町における生産年齢(15 歳から 64 歳)人口の平成 12 年から平成 22 年までの減少率を現状値として、平成 17 年から平成 27 年までの減少率を現状と同程度に維持することを目標とします。

平成 24 年度 of 取組方向

- ① 南部地域の市町が、自ら選択した課題に、地域内外の市町とのフレキシブルな連携による主体的な取組を支援するための仕組みを構築し、実施していきます。また、地域の課題に応じて、各部局からの提案により事業を構築するなど、地域住民や市町のニーズに応じた事業を進めます。
- ② 外部との交流を通じた集落機能を維持するための取組を進めるなど、市町と連携して集落を支援します。
- ③ 高等教育機関と連携して、地域住民の主体的な取組を支える中間支援機能の構築を進めます。
- ④ 地域資源を活用した取組を進める企業等と連携して新規雇用の創出を図るとともに、定住の促進に向けた PR を進めます。

主な事業

- ① (新) 南部地域活性化事業 (政策部)
【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
予算額：(23) ー 千円 → (24) 109,547千円
事業概要：南部地域の活性化に向けて、複数の市町が連携した取組を支援します。また、各部局からの提案による事業構築を進めます。
- ② (新) 市町と連携した集落支援モデルの構築事業 (政策部)
【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】
予算額：(23) ー 千円 → (24) 8,482千円
事業概要：市町と連携して、外部との交流を通じた集落を維持するための取組を進めるなど、モデル構築に向けた取組を進めます。
- ③ (新) 高等教育機関と連携した中間支援機能構築事業 (政策部)
【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】
予算額：(23) ー 千円 → (24) 6,430千円
事業概要：高等教育機関と連携し、地域住民の主体的な取組を支える中間支援機能の構築を進めます。
- ④ (新) 地域資源活用型雇用創出及び定住促進事業 (政策部)
【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】
予算額：(23) ー 千円 → (24) 34,701千円
事業概要：地域資源を活用した取組を進める企業等と連携し、雇用の創出を図るとともに、定住の促進に向けて、大都市圏でのシンポジウムの開催などの情報発信を進めます。